

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	平成 30 年度第 8 回 岩舟地域会議
開催日時	平成 31 年 2 月 20 日 19 時 00 分 開会 20 時 20 分 閉会
開催場所	岩舟総合支所 会議室棟 第 1 会議室
出席者氏名	須藤満雄、小倉久緒、櫻井ナミ子、中田身和、寺内正市、斉藤栄吉、佐山耕基、海老沼圭子、真瀬孝、田中正太郎、安藤芳雄、海老沼一利、高久厚子、相良香津子、瀬下敏明、五十畑賀章 以上 16 名
欠席者氏名	
事務局職員職氏名	岩舟地域づくり推進課長 岩崎充、係長 中田与志人、主査 尾林美紀 以上 3 名
その他出席者等	シティプロモーション課長 福田栄治、課長補佐兼係長 小林博己 以上 2 名
会議事項	(1) 栃木シティ FC について (2) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	2 名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◆事務局 ●会長	1. 開 会 2. あいさつ 3. 議事
◆シティプロモーション課 ●委員	(1) 栃木シティ FC について 《シティプロモーション課 (以下、「シティプロ課」という。) よりサッカー専用スタジアム等整備について資料に基づく説明》 スタジアムの駐車場についてどう考えているか。またメリットの説明の中で、条件が整えば地域イベントでスタジアムが利用できるとあったが、条件の内容は。
◆シティプロ課	駐車場については、今の地域リーグであるなら、すぐ対応しなければならないという心配はない。試合日も遊楽々館の利用者は使用するので、その動線を把握、調査し駐車場整備をしていかなければならない。 条件について未定である。スタジアムは民設民営で行っていくが、運動公園であるので、地域に開放し、イベントに貸し出せるよう調整していく。
●委員	斎場に隣接しているので、利用者が不愉快に思わないよう整備してほしい。
◆シティプロ課	交通や騒音の問題が予想されるが、スタジアム建設は南側を予定しており、音は樹木による遮音などで連携を対応していきたい。道路に関しては調査をしないとわからない。ちなみに、試合数は現在のリーグで年間 9 試合、J 2 の場合、年間 25 試合となる。
●委員	地域として応援し、みんなで盛り上げていきたい。ブドウ団地の道路 (広域農道) を県道に昇格していただくこともお願いしたい。

●委員	賛成である。駐車場、騒音問題は解決してほしい。陸上トラックがなくなり、運動会のためにスタジアムが無料で借りられるか心配である。
◆シティプロ課	運動会の利用は無料だと考えている。
●委員	市の方針は決まっているのか。岩舟駅、静和駅からのアクセスはどう考えているか。5,000人規模のサッカー場の面積だが、現在の面積の中でできるのか。
◆シティプロ課	市としては岩舟で住民の賛成を得たいと思っている。反対があれば、大平地域にいかなければならない。議員と話しているが、反対者はいない。地域がまとまれば岩舟地域と考えている。 アクセスについては、調査を行う必要がある。スタジアムの向きなど、想定して色々考えている。詳細はこれからである。
●委員	土木建設の予算は確保できるのか。矢田川の砂防施設など土石流など心配だが、その対応を教えてください。
◆シティプロ課	予算は確保できると思う。砂防については、しっかり行っていく。
●委員	岩舟地域の議員は賛成しているか。
◆シティプロ課	先日、全員の議員研究会でも説明しており、賛成している。
●会長	地域会議ではおおむね賛成ということで、ほかに意見がなければ、この議題はこれで終了とする。
	(2) その他
●委員	以前の情報提供である使用料、手数料見直し方針となんでも相談窓口設置について聞きたい。
◆事務局	10月に消費税率の引き上げの際に、使用料、手数料の見直しを検討する。条例で施行するので、情報提供資料のスケジュールのとおり進めていく。 なんでも相談窓口設置については、4月から始まる体制で、市民生活課に担当1名増員となり、市民との担当をつなぐ窓口となる。さらに岩舟総合支所に道路河川維持課第2係があるが、本庁に移動するので、道路に関する相談も、なんでも相談窓口で対応していく。
●委員	羽抜、藤岡大田和の開発行為についてどうなっているのか。
◆事務局	国道50号線南側で開発を進めようと地権者に話しているところで、時間をかけながら進めていくという状況である。
	4. 連絡事項
	5. 閉会